

協会創立記念日 行事開催

SCAの創立記念日行事が10月20日に開催されるが、記念日として行事をするのは、初めてなのでその準備に少し手間だった。これを布石として、30周年事業の推進に臨みたいものだ。

ここで催し物の概要を紹介します。4階会場を4つのスペースに別け、緑コーナーは協会紹介やコレクション展示を行なう。コレクションは約120余点が出展され、この機会で見ることができない物ばかりである。

青コーナーでは、オークションとバザーが催される。オークションには大変珍しい物が用意されている。またバザーではサイクリング用品が市価の半値で買える。

赤コーナーではセルフサービスのコーヒーや紅茶を飲みながらVTRを鑑賞しよう。第26回全国ラリー（宮崎）をはじめキャンプ講習会、'83ツールドフランス、中野V8なる（TVより録画）等が放映される。

中央コーナーでは自転車や野外用品の展示、サイクリング相談所が設けられ、いろいろな相談に応じてくれる。又午後6時～8時30分までは8m、16mの映写会が開催されます。

第1回の関東プロラリー、第17回全国ラリー（いずれも埼玉主管）、第7回クラブラリー（浦和CC主管）、第3回SCAクラブラリー（らくだCC主管）等、16mではツールドフランスが予定されている。

土曜の半日を青少年会館ですごしてみたいかがですか。

創立記念日実行委員会開催

去る10月6日、13:00～21:00まで青少年会館会議室において創立記念日実行委員会が開催された。役割分担、会場レイアウト等について討議されたのにひきつづきそれぞれの作業が行なわれた。

青年洋上大学参加

昭和59年度の埼玉県青年洋上大学は昭和59年11月21日～11月30日、サイパン・グアムを航行先として開催される。

協会関係者として新井孝子（ちちぶCC）、金子智紀（らくだCC）富永幸江・相原年之（九間島CC）の5氏が団員として、星野清理事長が副学長として参加することになった。諸氏の健闘を祈ります。

ブロックラリー終了する

第20回関東甲信越サイクリングラリーが9月16日～17日、山梨県甲府市、石和町を中心として開催された。ここ数年雨降りラリーが続いているだけに天候の方が大変気になったが、予想通りの雨となってしまった。開会式は10時から山梨県民会館ホールで開催された。席上20回参加の表彰があり、当協会から星野 清、杉山 弘の両氏が受賞した。

いよいよ出発という頃になって、雨が上り天気が回復してきた。参加者はA、Bコースに別れて甲い路を走る。県立美術館はとも心休まる思いがしたが、肝心の「種をまく人」は東京へ出張中とか…。

サントリーワイナリーでは無料試飲が一杯だけとのことだったが、数杯飲んだ人もいたようだった。ちょうどTVの録画撮りがあり、某有名俳優数名の演技が見物できた。

夜の交歓会では郷土芸能の披露やカラオケ大会などがあり、夜遅くまで友情の歓談は続いた。

16日朝、閉会式が行われ、来年は東京の青梅で再会する事を誓ってCコースの昇仙峡へと向った。

<関係諸団体>

◎埼玉県レクリエーション大会案内

昭和59年度埼玉県レクリエーション大会が昭和59年11月11日(日)、9:30～11:30まで春日部市文化会館で開催されます。式典後レクゲームや民謡、フォークダンス等の催物があります。

大峠越え紀行

仕事が予想外に手間取ってしまい新幹線に乗れたのが夕方になった。それでも福島では、ゆっくりする事ができた。便利になったものだ。

翌朝自転車ホテルの前で組立て、万世大橋(13号線)を一路米沢に向う。米沢までは45Kmである。閉口したのは、途中2本ある各2Kmの栗子トンネル内の排気ガスであった。トンネルは下り気味だからよかつたものの、とにかくぼうぼうの体であつた。米沢までの下りは短い、気分爽快であつた。ここで昼食をとり、上杉神社に参拝して、いよいよ121号線に向った。喜多方まで約56Kmの行程である。

問題はここからで、途中大峠まで標高差900mを稼がなければならない。峠下の八谷という小さな集落まではまずまずの舗装道路である。しかしその先は全くのグアードで、日頃の不慣れがたたつて、ほとんど手押しで登るありさまであつた。峠の上は、もう秋であり、既に隔は山の端に沈みかけていた。小さなトンネルを脱けると、何と出来たての舗装道路ではないか!! 欣喜雀躍。

極端なジグザグコースを夕闇追る谷底目がけて駆け下った。車は1台もやつてこない、私だけの時空間が生じる。結局標高差900mを下った勢いで、喜多方には途中数回バダルを踏んただけで着いてしまった。たった一日のツアーであつたが、充実した気分になり満ち足りた時がそこにあつた。

このコースでの注意点は、大峠には一軒の売店もないので、食料は米沢で調達しておく事である。実際私もヒモジイ思いをしてしまった。

岸 和孝記

☆末社の話

大抵の神社には境内にいくつかの末社がお祀りしてあるが、旧知の神官古田氏（本太永川神社）によると、これら末社には歴史的に興味ある建造物が少なくないと言ふことである。同氏はその一例として、協会事務局のある青少年会館に隣接する開神社境内のたばこ稲荷社（通称たばこさん）を取りあげられた。その本社は開神社本殿改築の際（安政年間）に空いた旧本殿なのだそう。

この様に歴史的に価値のある旧本殿をお祀りしてある例として所沢の西にある北野天神様がある。その境内には幾世代もの旧本殿の末社が各時代にわたって鎮座し、一緒に参詣できる。

また他の神社の旧本殿が移築されている例として川越は永川神社境内の八坂社で、江戸城内にあった東照宮本殿の移築と云ふ事である。勿論昔から上はお伊勢さんの二十年毎のご遷宮で建換えられた木材の払下げを受けて建てられる地方のお社を初めとして、著名な大社の旧本殿を譲り受け地域の鎮守様の本殿とする例は少なくない。

大宮の永川神社から片柳中川の永川神社。同じく伝聞によると大間木の永川神社も寛文年間に買受けたとの事である。私しの推測によると上大久保の永川社の本殿も大宮から移築された物らしい。

（註）大間木、上大久保は浦和市内
すぎやま記

I.N.S (Information Network System) ; 高度情報システム

今あらこちで耳にする言葉である。「いったいなにをするの」と迷訳をつけた人もいるくらい不明瞭である。私しなりに解釈すると、近年発達した“ディジタル技術・光ファイバー・超LSI”などを駆使してより豊富な電気通信サービスを地域にかわりなく利用できるようなシステムを言う。このシステムはVAN, Videotex, POSの3つに大別できる。POSについては次回に紹介することにして、今回はVideotexについて説明します。

Videotex ; 双方向文字図形情報システム

従来の通信システムが文字や数などを送るのが中心だったのに対し、画像を送ることで大きな情報が得られる。通常はセンターコンピュータに画像を大量に蓄積しておき、ユーザーは通信回線を通じて自分の見たい画像をテレビ形のディスプレイに呼びだして見ることができる。又テレビなどと違い、双方向で情報を送るため、ユーザーから商品注文などのサービス形態も可能。

国によって固有のサービス名があり、米国・カナダのテリドン、英国のプレステル、西独のビルトシルムテキスト、日本のキャプテンなどがある。

我国のキャプテンはこの11月からいよいよ実用化が始まる。現在、IP (Information Provider; 情報提供者) としては、銀行、証券、流通業者があり、サービスとしてホームバンキング、ショッピング、リザバイションなどがあげられている。



『会員紹介』

新井理幸
秩父CTC
会員番号1843
JCA普及指導者

サイクリング歴) 中学時代に三峰や正丸峠へ友人と出掛けていたが、昭和49年にちちぶCC発足に協力しクラブサイクリングの楽しさを知る。その後、協会の手伝いで行事に参加するようになり、昭和57年に秩父CTCを創立する。現在は秩父谷を中心にノンビリズムで、仲間と自転車の魅力を満喫しています。
抱負) サイクリストと、クラブライフを大切に自転車と上手に付き合っていきたい。

横 顔(文責 高橋 亘)

私と彼は同じ町内で、子供会活動が最初の出会でした。彼が高校の頃、スタートしたての私達のクラブに人会してきましたが、自転車よりオートバイの方へ気がいっていたようでした。その後私共のクラブが多人数となり多様化にともない別なクラブを作つたのですが、歴史あるクラブの中での活動より自分達の手で新しい道を作ることが、水を得た魚のごとくサイクリングに熱中し現在の活躍になつたようです。

協会の役員としての活動と同時に、クラブの充実を図りながら地域の活動にも貢献してもらうことを期待します。

{支部だより}

浦和) 市民体育祭参加行事の一環として毎年行なはれている市民サイクリングが10月10日、秋ヶ瀬公園を中心として開催された。

約50名程が秋のサイクリングを楽しんだ。秋ヶ瀬公園では、グリーンベルCCが用意してくれた“いも汁”に舌鼓をうつ。参加者の中には毎

度同じみの顔ぶれが目立ち、市民サイクリングも定着した感がある。

△インフォメーション△

★来年度開催される第21回の関東甲信越プロクサイクリングラリーは、東京サイクリング協会の主管により9月21日～22日、東京都青梅市御岳山を中心として開催されることになった。

★今年度の全国クラブラリーは11月3日～4日、西日本大学サイクリング連名学会の主管により峰山高原簡易保険総合レクリエーションセンターを中心として開催される。

★11月のオープン行事は11/18(日)猪狩サイクリング(秩父CTC)です。

{事務局だより}

11月の事務局補助要員は次の方々です。
11/17(土) 渡辺 11/25(日) 原田、
関 (敬称略)

≪編集後記≫

■SCAニュース発刊以来はじめて編集担当者宛てに便りが届いた。一生懸命やってもなんの反応のない程味けないものはないものだ。それが当りまえといってしまうとそれまでだが?この気持ちわかるかな。

■秋にふさわしい天気が続いているが、どこへ行っても人と車で一杯だ。こんな時はサイクリングでのんびり走った方がどれだけ気持ちの良いことか!。それにしても山の中までマイカーが入りこみ、排気ガスやゴミで自然が破壊されていくのは、残念なことだ。せめてゴミを持帰る位の気持ちをもってもらいたいものだ。